

リ士
ンク
断

コ
診

全国連合会立ち上げへ

1年以内めど 資格者活用働き掛け

コンクリート診断士の連合会の立ち上げに向けた検討を開始した。コンクリート診断士の資格認定は、日本コンクリート工学協会（JCI、阪田憲次会長）が実施しておらず、現状では、地区ごとに各診断士会が個別に活動を行っている。老朽化したインフラが急増するのに伴い、コンクリートの劣化診断や維持管理に対するニーズが高まっていることを踏まえ、東京コンクリート診断士会は資格者の積極的な活用が重要になると判断。そのためには全国組織を設立し、連携強化を図ることになつた。準備組織を設けて検討し、今後1年内をめどに連合会の発足を目指す。

有資格者が年々増えている中で、技術の研さんを受けた講習の充実や、資格の認知度の向上、有

識を示した上で、連合会が発足した際には、講習会の実施などで連携し、合会の設立を目指す機運が高まつた。

先月26日には、東京コンクリート診断士会の主催により、各地区の診断士会の代表者が参加するパネルディスカッションが都内で開かれ、こうした課題を議論。

各地区の診断士会からは、「資質向上などには全国横断の組織が必要」といった意見が出され、連合会の設置に向けて準備会を設けるとの方向で一致した。

CI会長は「連合会の設置は意義がある」との認識を示した。

同資格は、既存構造物のコンクリート診断などを行う技術者を認定するもので、01年度に創設され、08年度までに720人9人が合格している。

これまでに△北海道△青森△新潟△長野△東京（関東圏）△富山△石川△福井△静岡△京都・滋賀△鳥取△島根△高知△大分の14地区で発足している。

識を示した上で、連合会が発足した際には、講習会の実施などで連携し、合会の設立を目指す機運が高まつた。